

沖縄・辺野古

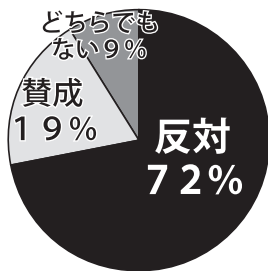
米軍新基地建設

沖縄県民の意志を踏みにじて安倍政権が強行する沖縄・辺野古への米軍新基地建設は、建設の道理も、完成の見通しも、全くありません。

政府が強行する辺野古の海への土砂投入は、1年たって完了したのはわずか1%です。昨年12月末に政府が発表した今後の見通しは、工費は予定の3倍の9300億円、工期は2倍以上の12年間です（県の試算は工費2.5兆円、工期15年）。

沖縄県がずっと指摘してきたように、建設予定地に広大な軟弱地盤が広がり、大規模な地盤改良工事を必要とするためです。環境破壊と基地による弊害ばかりもたらすこの計画を、沖縄県は認めない立場です。

新基地建設のための
埋め立てに



(19/2/24 沖縄県民投票)

工期も費用も膨張
土砂投入は1年で1%
道理も見通しもなし



止めるしか ありません

「普天間基地の
危険性除去」

は真っ赤なウソ

政府は新基地建設の理由を「普天間基地の早期の危険性除去」のためと主張しています。しかし政府の計画では、市街地の真ん中にある普天間基地によって市民の命と安全が脅かされている状況を、今後12年以上も放置することになります。もはや計画の破綻は明らかです。

この1年で、普天間基地での米軍機の離発着は2割も増え、事故も多発しています。「せめて保育園や学校の上空を飛ばさないで」という保護者たちの訴えにも、政府は背を向け続けています。

「普天間基地の危険性除去」のためには、米政府に普天間基地の即時運用停止と閉鎖・撤去を堂々と求める以外にありません。沖縄県民と共に、新基地建設中止、普天間基地の閉鎖・撤去を求めましょう。

新基地建設中止、
日米地位協定改定を
求める署名にご協力を

日本平和委員会

2020年1月発行

一人ひとりの平和の願いをもとに行動する平和NGOです

<http://j-peace.org/>

東京都港区芝1-4-9平和会館 4階

TEL03-3451-6377 FAX03-3451-6277